



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 神戸発動機株式会社

コード番号 6016 URL <http://www.kobe-diesel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 道生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 森山 敬之

TEL 078-949-0800

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,290	11.4	△201	—	△218	—	△220	—
27年3月期第2四半期	5,645	25.0	△881	—	△875	—	△980	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	△7.88	—
27年3月期第2四半期	△35.08	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,282	4,572	34.4
27年3月期	14,485	4,813	33.2

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 4,572百万円 27年3月期 4,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期末の配当予想については、現時点では未定です。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	11,017	△6.9	△80	—	△95	—	60	—	2.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	28,000,000 株	27年3月期	28,000,000 株
28年3月期2Q	40,178 株	27年3月期	39,617 株
28年3月期2Q	27,960,132 株	27年3月期2Q	27,962,272 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. その他	9
(1) 売上及び受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、これまで緩やかな回復基調ではありましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速や、米国の年内利上げ観測など世界の経済及び金融に大きな影響を与える事象により、景気の先行きの不透明感が増しています。

一方、わが国海運・造船業界は円安効果による業績回復も見込まれていますが、依然として世界的な船腹及び設備過剰の状況は継続しており船価は厳しく、また中国経済の減速影響から荷動きの悪化や用船料の低下などの状況が危惧されています。

このような状況下にあつて、当第2四半期累計期間の売上高は、主力製品である船用内燃機関が46億9千5百万円と前年同四半期と比べ6億2千6百万円(15.4%)の増収、修理・部品等は15億9千5百万円と前年同四半期と比べ1千7百万円(1.1%)の増収、全体としては62億9千万円と前年同四半期と比べ6億4千4百万円(11.4%)の増収となりました。

損益面では、主機関においては新機種生産がひと段落つき、販売価格もやや回復基調となり従来に比べ採算の改善がみられました。しかしながら、部品販売は一部船種における海運市況低迷の影響を大きく受け、売上が当初計画のおりには至らず、収益的にも厳しく経費削減等に注力しましたが、営業損失は2億1百万円(前年同四半期は8億8千1百万円の損失)、経常損失は2億1千8百万円(前年同四半期は8億7千5百万円の損失)、四半期純損失は2億2千万円(前年同四半期は9億8千万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ9.5%減少し、99億3千4百万円となりました。これは、主として現金及び預金が5億3千1百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が4億6千6百万円、製品及び仕掛品が10億5千4百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ4.5%減少し、33億4千8百万円となりました。これは、主として減価償却による有形固定資産の減少によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ8.3%減少し、132億8千2百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ19.2%減少し、64億2千7百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が10億6千8百万円、前受金が4億6千7百万円、受注損失引当金が1億8千6百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ33.3%増加し、22億8千2百万円となりました。これは、主として長期借入金が5億5千5百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ9.9%減少し、87億1千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ5.0%減少し、45億7千2百万円となりました。これは、主として四半期純損失等により利益剰余金が2億2千万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ5億3千1百万円増加し、39億7千3百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による結果使用した資金は、3千万円(前年同四半期は8千万円の支出)となりました。前年同四半期に対する主な要因は、たな卸資産及び仕入債務の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による結果取得した資金は、1千4百万円（前年同四半期は1億8千1百万円の支出）となりました。前年同四半期に対する主な要因は、有形固定資産の取得による支出の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による結果取得した資金は、5億4千6百万円（前年同四半期は5千万円の支出）となりました。前年同四半期に対する主な要因は、長期借入れによる収入の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、前年同四半期と比べ改善いたしました。当社を取り巻く事業環境は依然として厳しく、平成28年3月期第2四半期（累計）の業績予想数値を、平成27年10月30日付で開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたしました。

また、平成27年6月9日付で開示いたしました平成28年3月期通期個別業績予想数値については、当第2四半期（累計）の実績を踏まえ以下のとおり修正いたします。

尚、配当予想については現時点では未定としております。

①平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,380	40	40	80	2.86
今回修正予想(B)	11,017	△80	△95	60	2.15
増減額(B-A)	△363	△120	△135	△20	
増減率(%)	△3.2	—	—	△25.0	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	11,829	△2,022	△2,002	△2,109	△75.45

②修正の理由

上期において主機関の販売については、概ね計画どおりに推移しました。しかしながら部品売上は、ばら積み船を主体とする海運市況低迷等の影響を大きく受け、計画比減収減益という厳しい結果となり、製造コストや経費の削減等で収益改善に注力いたしましたが当初計画どおりには至りませんでした。

下期については、ほぼ当初業績予想どおりを見込んでいるものの、上期実績の要因により通期の営業利益及び経常利益は前回発表予想から残念ながら赤字となりますが、平成27年6月9日付で開示いたしました旧長崎工場跡地売却や今後計画しておりますその他資産の処分等により、当期純利益はほぼ前回発表予想に近い黒字を確保できるものと予想しており、平成28年3月期通期個別業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

尚、当社といたしましては、部品売上の回復施策の徹底等（東京及び今治地区の営業人員増強、従来の販売及び仕入方法の見直しによる売上拡大等）により業績の回復を目指してまいります。

※上記予想の内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により変動する可能性があります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,442,000	3,973,085
受取手形及び売掛金	3,612,275	3,146,155
製品	789,865	895,217
仕掛品	2,589,703	1,429,544
原材料及び貯蔵品	462,786	475,089
その他	82,956	15,992
貸倒引当金	△900	△600
流動資産合計	10,978,686	9,934,484
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,833,568	1,787,375
その他(純額)	1,399,012	1,311,070
有形固定資産合計	3,232,580	3,098,445
無形固定資産		
	69,005	96,250
投資その他の資産		
投資その他の資産	222,304	187,000
貸倒引当金	△17,400	△33,400
投資その他の資産合計	204,904	153,600
固定資産合計	3,506,490	3,348,296
資産合計	14,485,177	13,282,781
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,735,706	3,667,497
1年内返済予定の長期借入金	824,600	837,500
未払法人税等	9,120	6,712
前受金	965,500	498,500
受注損失引当金	893,000	707,000
その他の引当金	150,969	133,814
その他	379,547	576,427
流動負債合計	7,958,443	6,427,451
固定負債		
長期借入金	1,335,200	1,890,800
退職給付引当金	216,493	232,805
その他の引当金	35,354	19,708
その他	125,857	139,534
固定負債合計	1,712,905	2,282,848
負債合計	9,671,349	8,710,300

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,215,000	2,215,000
資本剰余金	1,709,750	1,709,750
利益剰余金	822,665	602,299
自己株式	△6,967	△7,024
株主資本合計	4,740,447	4,520,024
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,380	52,456
評価・換算差額等合計	73,380	52,456
純資産合計	4,813,828	4,572,480
負債純資産合計	14,485,177	13,282,781

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,645,704	6,290,464
売上原価	6,055,255	6,010,347
売上総利益又は売上総損失(△)	△409,551	280,116
販売費及び一般管理費	472,243	482,059
営業損失(△)	△881,794	△201,942
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,422	2,035
受取家賃	3,506	3,506
受取賃貸料	3,375	4,146
受取保険金	7,409	-
雑収入	2,618	3,822
営業外収益合計	19,331	13,510
営業外費用		
支払利息	7,145	6,257
支払手数料	3,509	-
貸倒引当金繰入額	-	20,000
雑損失	2,449	3,618
営業外費用合計	13,104	29,876
経常損失(△)	△875,567	△218,308
特別利益		
固定資産売却益	1,953	216
特別利益合計	1,953	216
特別損失		
固定資産除却損	736	188
工場閉鎖損失	104,383	-
特別損失合計	105,120	188
税引前四半期純損失(△)	△978,734	△218,280
法人税、住民税及び事業税	2,356	2,356
法人税等調整額	△291	△270
法人税等合計	2,065	2,086
四半期純損失(△)	△980,799	△220,366

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△978,734	△218,280
減価償却費	218,025	185,988
引当金の増減額(△は減少)	40,038	△186,788
受取利息及び受取配当金	△2,422	△2,035
支払利息	7,145	6,257
固定資産除却損	736	188
固定資産売却損益(△は益)	△1,953	△216
工場閉鎖損失	104,383	-
売上債権の増減額(△は増加)	△594,067	△879
たな卸資産の増減額(△は増加)	△141,024	1,042,504
仕入債務の増減額(△は減少)	1,158,943	△1,059,956
未払消費税等の増減額(△は減少)	28,007	147,600
その他の資産の増減額(△は増加)	5,582	△448
その他の流動負債の増減額(△は減少)	84,967	64,321
その他の固定負債の増減額(△は減少)	408	417
小計	△69,963	△21,327
利息及び配当金の受取額	2,422	2,035
利息の支払額	△7,903	△6,343
法人税等の支払額	△4,674	△4,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	△80,118	△30,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△174,200	△35,921
有形固定資産の売却による収入	7,777	300
無形固定資産の取得による支出	△4,668	-
固定資産の除却による支出	△157	-
投資有価証券の取得による支出	△510	△490
投資有価証券の売却による収入	-	800
その他の支出	△10,000	-
その他の収入	202	49,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181,556	14,551
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△537,200	△431,500
リース債務の返済による支出	△12,578	△21,605
自己株式の取得による支出	△58	△56
配当金の支払額	△398	△277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,235	546,560
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△311,910	531,085
現金及び現金同等物の期首残高	4,901,690	3,442,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,589,780	3,973,085

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 売上及び受注の状況

①売上状況

(単位：千円、千円未満切捨て)

事業区分	前四半期累計期間		当四半期累計期間		(参考)	
	自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日		自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日		(平成27年3月期)	
	金 額	比率(%)	金 額	比率(%)	金 額	比率(%)
舶用内燃機関	4,068,200	72.1	4,695,000	74.6	8,603,752	72.7
修理・部品	1,577,504	27.9	1,595,464	25.4	3,225,844	27.3
合計	5,645,704	100.0	6,290,464	100.0	11,829,597	100.0

②受注状況

(単位：千円、千円未満切捨て)

事業区分	前四半期累計期間		当四半期累計期間		(参考)		
	自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日		自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日		(平成27年3月期)		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
受注高	舶用内燃機関	2,437,750	63.4	2,637,000	62.1	5,509,614	63.0
	修理・部品	1,407,572	36.6	1,611,975	37.9	3,232,422	37.0
	合計	3,845,322	100.0	4,248,975	100.0	8,742,036	100.0
受注残高	舶用内燃機関	11,839,688	96.5	8,318,000	93.0	10,376,000	94.5
	修理・部品	430,068	3.5	623,089	7.0	606,578	5.5
	合計	12,269,756	100.0	8,941,089	100.0	10,982,578	100.0